

ナイスケアだより

第170号 令和8年7月発行

ホームページ

Instagram



先日、劇団四季のミュージカル『バック・トゥ・ザ・フューチャー』を観に行ってきました。演劇を観るのは久しぶりでしたが、40年前に映画で観たあの名作が舞台上でどう描かれるのか、期待で胸がいっぱいでした。特に、タイムマシン「デロリアン」が舞台上でどう動くのかが一番の楽しみでした。



幕が上がって驚かされたのは、最新の映像技術と見事な舞台転換です。鮮やかな早変わり映像演出によって、一瞬で作品の世界観に引き込まれました。さらに目を引いたのが、歌とダンスの迫力です。圧倒的な歌唱力と美しく揃ったダンスに、胸が熱くなりました。

一番心に残ったのは、やはりラストのシーンです。デロリアンが疾走し、実際に飛び立った瞬間には、興奮のあまり思わず拍手をしてしまいました。終演後のスタンディングオベーションでも、会場の拍手が鳴り止まないほどの熱気でした。たくさんの元気をもらい、すっかり劇団四季のファンになりました。



皆様もぜひ、この感動を味わいに劇場へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～七夕～

7月7日は七夕でしたね。短冊に願いを書いて飾りと共に笹の葉につるすのが一般的ですが、元々は奈良時代に中国から伝わり、季節の変わり目に日本に伝わった当初は無病息災や豊作を願い、厄払いや神様へ季節の変わり目にお供え物をする風習からきているそうです。

七夕の飾りにも意味があり、折鶴：長寿を願う、吹き流し：お裁縫の上達を願う、網飾り：大漁を願う、巾着（財布）：金運を願う、本当の財布を飾ることもある。紙衣（かみこ）、裁縫の上達と、災い病の身代わりになってもらう。くずかご：整理整頓・儉約の意味。七夕飾りを作った時の紙くずを入れることもある。

笹の葉に飾り付けをするのは空に向かって高く伸びる笹の葉に願い事を吊るすことで天にいる神様や星に願いが届きやすくなると考えられていたそうです。北海道や仙台では、8月7日に行うところもあるそうです。

まだまだ残暑が厳しい日が続いております。熱中症にもお気をつけて水分補給をお忘れなくお過ごしください。

萩原 宏美